

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	くろかみ学園児童発達支援センター（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 10日		～ 令和 8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 10日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の質が高く、個別支援計画の作成・共有が適切に行われていること。	アセスメントを活用し、こどものニーズを客観的に分析し計画を作成していること。支援終了後の10分会議で情報共有を行っていること。	担当者からの周知をさらに徹底し、職員間の理解を深める仕組みづくりを行うこと。
2	環境整備への配慮（清潔さ・構造化・バリアフリー）をしていること。	パーテーションで視覚遮断し、個別空間を確保・車椅子対応トイレや手洗いの整備していること。	個別スペースの不足解消に向けた構造化の検討をすること。
3	職員の研修体制が整い、資質向上に積極的であること。	虐待防止研修、カスタマーハラスメント研修の実施・研修参加を促進していること。	研修内容の共有方法を工夫し、全職員の実践力向上につなげる。Web研修など多くの研修が受けれる環境を作ること。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別スペースの不足・環境面の課題があること。	個別室が2部屋しかなく利用できないことがあること。訓練室は2室、遊戯室は1つあるが、構造化が出来ていないことで個別の支援が難しい面があること。	構造化の強化・スペース再配置の検討をすること。
2	地域交流の機会が少ないこと。	時間・場所・相手の確保が困難であること。	安全確保を行ったうえで、地域の社会資源を使った活動や地域の行事などに参加する機会を検討すること。
3	保護者との情報共有の方法に課題があること。	連絡帳がなく様子が分かりにくいこと。職員の対応のばらつきがあること。	引継ぎ方法の標準化や保護者対応研修の検討すること。